

令和2(2020)年度 岡本特別支援学校 学校評価シート

教育目標、学校経営方針

教育目標	児童生徒の病状、障害に応じた教育を行い、一人ひとりの個性、能力、創造性を伸ばし、社会に参加、貢献できる人間を育成する
学校経営方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒・保護者のニーズに応じた教育の充実 ○ 児童生徒の心身の健康や人権を守る、安心・安全な教育環境の整備 ○ 学校・家庭・病院・地域が連携した学校づくりの推進 ○ 教職員が一人一人の力を発揮する、やりがいのある学校づくりの推進

A:達成できた
B:概ね達成できた
C:改善が必要

重点目標(推進担当)	評価項目(各学部、分掌部で1点)	現状	達成目標	評価の観点	評価	次年度の改善策
○児童生徒・保護者のニーズに応じた教育の充実 ●病弱教育についての専門性向上のための研修や授業研究の推進 ●教材の工夫とICT機器の活用 ●新学習指導要領に合わせた個別の指導計画と児童生徒と保護者のニーズをくみ取った個別の教育支援計画の作成と次のステージへの円滑な移行 ・キャリア教育の推進 ・進路希望実現に向けた対応 ・関係機関との必要な情報共有 ・前籍校や地元校への復帰支援	【小学部】 教材の工夫とICT機器の活用	児童の実態の多様化により、学習の充実を図るために学部全体での協力体制が必要になっている。学部内で情報を共有し、指導内容等を学部全体で考えながら児童の指導の充実に取り組んでいく必要がある。	児童の情報を共有し、有効な指導法や教材について考察・実践する。	話し合いの場を計画的に設定し、各児童についての指導内容や方法について検討し、成果を上げることができたか。	【 A 】 ・学部会での情報交換に、指導上での相談を加え、定期的に場を設定した。今後も続けていければと思う。学部内で情報共有することで、普段から話し合えるようになってきていると感じる。 ・ICT(パワーポイント、スカイプ)を授業に活用したことで、児童がより学習内容を理解できるようになったり、登校が難しい場合に対応できたりしたと思う。それぞれの事例を共有できる場を持てればなおよかったと思う。	・学部会での情報交換の場で、児童の情報を共有することはもちろん、目標の設定や学習上の問題などについて定期的に話し合うようにしていく。 ・ICT活用は、次年度以降のギガスクール構想を見据え、タブレットの活用について研修や情報交換を行っていく。
	【高等部】 ・生徒の実態に合わせたICT機器の活用	・数名の職員はICT機器を活用して遠隔授業や教材提示などを行っているが、だれもが、いつでも使えるというレベルまで至っていない。	・ICT機器やソフトの使用法、あるいはSkype、Zoom等の接続方法について研修し、授業で活用する。	・計画通りにICT機器に関する研修を行い、日頃から授業の進め方や教材の活用において取り入れることができたか。	【 A 】 ・計画的に研修をすることができた。さらに様々なICT機器の研修を行いスキルアップできるとよい。 ・全天球カメラやiPadを利用して、校外学習や事後学習を分かりやすく楽しみながら行うことができた。 ・遠隔で授業を行うことで、欠席が減ったり学校や友達とのつながりを感じたりすることができたと思う。一人でも扱えるようにしたい。 ・生徒が「筆記が難しい」と言ったときに、PCを使うことでノートをとることができた。	・様々なICT機器を使った教材、授業の進め方に関する研修を行っていく。 ・新しく導入されるタブレットについても研修していきたい。
	【おおり分教室】 インターネットを活用した遠隔教育の実施の拡大	遠隔教育に必要な機器やスキルは整ってきたが、活用場面の検討及び実践が十分でない状況である。	・各教員が主体的に遠隔教育を実践し、実践記録を作成すること。	・各教員が一人2事例以上の遠隔教育を実践し、実践記録を作成することができたか。	【 A 】 ・様々な機会(分教室と前籍校・病室・本校等間)をとらえ遠隔教育を実施できた。しかし、通信環境や児童生徒の心情等により実施が難しいケースもあった。 ・実践記録も実施後随時作成でき、いつでも閲覧できる状況となっている。	・今年度の実践記録等を分析することで、遠隔教育をより効果的に実施できるように、適切な場面や内容について検討し、遠隔教育の質の向上を図る。
	【教務部】 教材の工夫とICT機器の活用	・小、中、高、分教室で遠隔授業やiPad、パソコンを用いた授業を実施している。院内学級では、iPadを用いた授業を実施している。 ・全天球カメラについては、まだ十分活用されていない。	・学習指導や校務における情報化、効率化のために、ICT機器やWeb会議システムなどのソフトウェアの活用方法について、職員に周知・啓発し情報スキルの向上を図る。	・昨年度に比べ遠隔授業の実施回数や実施担当者の増加が見られたか。 ・貸出簿の記録を参照し、昨年度に比べICT機器の活用が促進されたか。 ・各学部とも活用法の研修を行うことができたか。	【 A 】 ・新型コロナウイルス感染症の感染症対策もあり、昨年度に比べ、遠隔授業の実施回数、担当者とも増加した。 ・貸出簿の記録から、昨年度に比べICT機器の活用促進が図られ、iPad、パソコンを用いて授業を行う場面が増えた。 ・ICT係を中心に、部ごとに研修を行った。	・GIGAスクール構想により、新しい機器が導入予定である。マニュアルを整備し、活用促進が図られるよう部内で検討し、研修を行う。 ・学習指導部と連携を図り、ソフトウェアの活用促進を図ったり、ICT機器を効果的に活用した授業の実践に取り組んだりする。
	【学習指導部】 個に応じた指導力の向上	児童生徒の実態が多様化しており、教師に求められる指導力も多様化している。本校に在籍する児童生徒について各教科等での配慮事項等について共通理解を図る必要がある。	教科等部会や授業見学会を通して、互いの授業の様子や困り感を共有し、言葉掛けや教材教具、指導法など授業の配慮事項について検討する。	・教科等部会や授業見学会を実施し、各教科等の授業について現状を知り、言葉掛けや教材教具、指導法について教師としての見識を広めたり、実際の授業改善に役立てたりすることができたか。	【 B 】 ・教科等部会は予定通り実施することができた。授業における児童生徒の情報交換で、授業の様子や困り感を共有して改善策について検討した。言葉掛けや教材教具の活用の仕方等を話し合っ共有するところまで深めることは難しかった。	・本校の児童生徒の実態が多様化しており、個に応じたきめ細やかな対応や教員間の共通理解がますます必要である。教科部会で協議事項として位置付けて児童生徒の様子(実態)や、担当教員が気を付けている言葉掛けや指導について検討する時間を確保するようにする。

<p>○児童生徒の心身の健康や人権を守る、安心・安全な教育環境の整備</p> <p>●防災教育の推進、健康・安全指導・安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の身を守る避難訓練の実施と健康・安全指導の実施 ・感染症の予防やアレルギー対応のための職員研修の充実 ・ヒヤリハット事例の集約と共有 	<p>【中学部】 生徒の心と健康を大切にした指導の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での活動や人との関わりに不安感がある。 ・体調の変化によって本人や保護者が不安定になる。 ・身体の成長に伴った体調の変化が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心と健康を大切にした指導を充実させ安心して学べる環境を整えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮事項について共通理解を図り、対応を考え、手立てを講じることができたか。 ・関係する教職員、関係機関等と情報を共有し、生徒に合わせた環境調整を行うことができたか。 ・生徒が登校した際に、意欲的に活動する様子がみられたか。 	<p>【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の生徒への配慮事項について共有しながら一人ひとりに配慮した指導や環境調整を行うことができた。 ・生徒についての対応や支援方法についてはさらに共通理解を進めていくことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒についての対応や支援方法についての共通理解を進めていくために、個別の教育支援計画等を基にした話し合いや、生徒の特性や配慮すべき点について共有する場を設け指導に活かす。
<p>●教職員の人権意識の高揚と、児童生徒の心と健康を大切にした指導の充実</p>	<p>【院内学級】 感染症の予防に努め、実践状況を定期的に確認し、安全に授業を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の健康管理は各自で行っている。 ・教材は市販の消毒液(ウエルパス)で消毒、病棟内で着用した衣類は学校で洗浄し清潔を保っている。環境の清掃は行っているが、消毒はしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防の意識向上を図り、体調管理に努める。 ・実践項目を整理した環境消毒確認表を作成し、消毒を徹底することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、体温・体調を健康確認表に記入でき、感染症予防の意識向上が図られたか。 ・環境消毒確認表を用いて、消毒を徹底することができ、定期的に確認できたか。 	<p>【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間にわたり、教員の健康管理と教材や教室の消毒を徹底して行った。 ・病院で授業を行うに当たっては、病棟医師の指示を受け、年度当初の予定通りの学習は難しい場面も後半生じたものの、感染していないことを確認しながら授業を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院からの指示や要望を受け入れつつ、どのように工夫すればよいかを柔軟に考えていく必要がある。 ・今後も徹底した教員の健康管理と教材等の消毒に努めていく。
	<p>【健康安全指導部】 ・児童生徒の心と健康を大切にした指導の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒は休校が続き、学業や進路に対して不安等を抱えている。 ・年2回「心の健康観察」を実施し、児童生徒の回答や保護者の聞き取りから努力している点や悩み等を把握し、情報を職員で共有し、指導、支援をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の悩みや不安に対して早期発見、早期解決を図る。 ・心の健康観察の結果を指導、支援に活かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心の健康観察の結果より、悩み等があるの回答が、1学期と比較し2学期に大きく落ち込むことがなかったか。 ・保護者アンケート「安心・安全な教育環境」の項目で「よく取り組んでいる点や悩み等を把握し、情報を職員で共有し、指導、支援をしたか。」の回答が90%以上であったか。 	<p>【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心の健康観察の不安や悩み等があるの回答が1回目よりも2回目の結果が若干増えていた。気になる児童生徒への言葉かけ、支援を今後も続けていく。1回目20%→2回目25%(3人/15人→4人/16人) ・保護者アンケートの回答が89%であった。職員への呼びかけや連絡をこまめに行った。感染症、問題行動等を未然に防止することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心の健康観察以外でも、常に児童生徒の些細な変化も見逃さない、教職員間の情報共有で風通しをよりよくするなど何でも気づいたことを話せる雰囲気作りを努める。 ・気になる児童生徒への情報共有、共通した指導、支援ができるように、各学部間の連携を密にする。
<p>○学校・家庭・病院・地域が連携した学校づくりの推進</p> <p>●関係機関と連携した取組の充実と実践の積極的な発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流及び共同学習の充実 ・家庭や病院との細やかな連携 ・ホームページの充実と地域への情報発信の充実 	<p>【渉外部】 ・PTA活動の充実と活性化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に参加できる保護者の多くが理事になっている。 ・アンケートを実施し保護者の意見を集め、話し合いに役立っている。 ・参加できなかった保護者には、活動の様子が伝わりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの記事の内容を工夫し活動内容を発信すると共に、保護者に知らせ、閲覧状況を把握する。 ・保護者アンケートをもとに話し合いを行い、活動内容を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの記事の内容を工夫し発信することができたか。 ・アンケートでホームページの閲覧状況を把握することができたか。 ・活動内容を工夫することができたか。 	<p>【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの記事の内容が同じようにならないように工夫して発信することができた。 ・アンケートの回収数は少なかったが、閲覧状況を把握できた。 ・会長や校長先生との貴重な交流の機会になった。(分教室) ・アンケートを実施し、保護者の意見を生かすことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度も充実した活動、保護者に大きく負担がかからない活動を工夫する。 ・ホームページを見てもらえるよう保護者宛通知に載せる。 ・遠隔を使用した参加の方法の検討はどうか? ・アンケートは今後も活用する。
	<p>【進路・卒業支援部】 ・進路実現に向けて主体的に取り組めるような情報の発信とホームページの更新</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回発行の進路だよりやキャリア教育の取り組み、各学部の進路に関する行事をホームページに掲載している。 ・キャリア教育の取り組みは、昨年度末より校内にも掲示し、児童生徒や保護者に啓発を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路だよりやホームページへの掲載を工夫し、読む人の関心が高めるように内容の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路卒業支援部のホームページに掲載する際に、進路に関する行事については、該当学部、学級のページにリンクを貼るなど工夫してホームページを見やすくできたか。 ・リンクを貼ることを全職員に周知することができたか。 	<p>【 B 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページは行事ごとに更新し、それぞれの学部・学級のページにリンクを貼り、進路卒業支援部に掲載した。また、進路だよりでも写真を多く掲載し、キャリア教育の取り組みなど、分かりやすく読みやすく工夫した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページへの掲載では、進路卒業支援部内でリンクを貼ることを意識して取り組んだが、全職員に周知するまでには至らなかった。次年度は、進路のみに限らず、それぞれに関連する記事はリンクを貼って、より見やすく分かりやすく掲載するように、発信していきたい。
	<p>【特活・交流部】 ・本校の理解啓発と情報発信の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動の主な行事の様子や交流活動についてはホームページへ掲載している。 ・学校だよりを発行したり学校近隣の施設で岡特作品展を実施したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に本校の活動内容を発信することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事だけでなく、係活動や委員会活動などもホームページに掲載し、児童生徒の教育活動の様子を積極的に発信できたか。 ・学校だよりや作品展において、内容などを工夫し、地域の方々に対して本校についての理解啓発を図ることができたか。 	<p>【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の児童生徒会活動の様子をホームページに定期的に更新することができ、児童生徒の活動の様子がしっかりと発信することができた。 ・児童生徒会中心で作成した岡特マスコットキャラクターの記事を掲載するなど、内容を工夫して学校だよりを作成、配付することができた。近隣の施設で作品展も実施し、本校の理解啓発や情報発信ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度も内容を工夫しながら、ホームページの更新を積極的に行う。 ・現在実施している施設での作品展に加え、新たな場所でも作品展を実施していけるよう検討していきたい。
<p>○教職員が一人一人の力を発揮する、やりがいのある学校づくりの推進</p> <p>●一人一人の教職員が得意分野で力を発揮し、苦手分野をカバーし合える学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームとしての情報共有と協働体制の確立 ・互いの教育観を認め合い、意見交換できる環境、風土の醸成 <p>●働き方改革についての検討・推進</p>	<p>【支援部】 ・円滑な連携を図るための協働体制の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関等との連携が必要な業務が多いが、担当者以外は業務が見えにくい状況がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の業務について、その都度マニュアルを確認しながら、部全体で関わっていけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル等で、流れや分担を確認しながら、部全体で、業務に関わることができたか。 	<p>【 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルをもとに、関係機関や校内各学部との連携を円滑に行えるよう、業務を分担しながら部全体で取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開・体験学習や就学相談・教育相談についてはケースごとに細かな配慮が必要とされた。今後も、関係機関との連絡・調整後、その都度各学部と連携し、実施していけるように努めたい。